

* 研究授業からの学び *

2021.12.7

No.3

文責 新玉

令和3年 10月20日 (水)

西土佐中学校 第1学年 総合的な学習の時間 中山 文 井上 翔太 下山 歩 教諭

単元名 「地域発見 ～地域を理解し、発見しよう～」全50時間

小単元2 「西土佐をアピールしよう」(23時間)

<単元でつけたい力>

- ・地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。【知識】
- ・情報を比較・分類・関連付ける、多面的に見るなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。【技能】
- ・自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。【思考力・判断力・表現力等】
- ・自他の考えを交流しながら、協働して探究活動に取り組もうとする【学びに向かう力、人間性等】

本時の目標

西土佐地域の活性化に向けて、自分たちにできることを「効果的か」「実現可能か」という視点に沿って検討することができる。

本時の評価規準

西土佐地域の活性化に向け、「活性化に効果的か」「実現可能か」の視点で自分たちができていることを考えている。【思】

本時の授業風景

SNSで発信することは効果があるかもしれないけれど、実現は難しい。



リーフレットやパンフレットを作成することは効果的で実現可能だと思う。



本時の板書 (10/20)

小単元2
西土佐をアピールしよう
「観光客、来てください!!」

(1) 地域の活性化のためにこれからの取組を考えよう。
☆小単元1の振り返り
☆探究課題に向けた取組を考えよう
★実際にできるかどうか検討しよう

めあて

これからしていく取組について(可能かどうか)を視点に検討してみよう

可能 できる
伝えるために
ちゃんと伝えるために

研究協議より (抜粋)

授業者より

- 子どもは意欲的に活動しており、文化祭での発表の振り返りから、伝わったことを共通確認できた。
- 伝わらなかったことを考えることで、次の課題、今後の地域貢献につなげることができる。
- 発表を振り返ると、まだ伝えることが弱い部分があった。
- 小単元2で「観光客に来てほしい」という意見が子どもからあり、やりたいことをどう絞り込んでいくのが課題だ。

参観者より

- ICTや思考ツールを効果的に活用していた。
- 前時を想起させ、本時の視点を確認することで、本時の活動を自分事として考えさせるしかなかった。
- 教師の問い返しや練り合わせる活動など、思考を深める手立てがよかった。
- 視点を押さえてめあてを子どもと確認したが、時間を要しグループ活動も長かった。
- 教師の切り返しで深まった子どもの思考の板書への残し方。
- 個でのタブレット使用と全体共有での使用。

指導主事より

- ・タブレットの中にアイデアがいっぱいある。
- ・実現可能か、効果的かどうか考えるときに、何をもって効果的と言えるのかははっきりとさせる。
- ・生徒の思考を深め、ねらいに迫るために、生徒の反応を可能な限り予想しておくことが大切。

授業者のリフレクションより

積極的に生徒たちは活動することができた。見通しを持ちながら、本時のめあてである、活性化に向けた取組について効果的か、実現可能かという視点で考えることができた。

各班からの意見を集約するときに、思考ツールとしてピラミッドチャートなどを活用すると、思考の深まりが見られる。また、効果的かどうかの視点を生徒で話し合わせることもこれから行っていき、活動をより主体性を持って取り組めるように指導していきたい。

☆これから取り組んでいきたいこと

- *教材研究
生徒の意識、反応の予想をし、思考を深めさせる授業づくり。
- *課題の焦点化
- *思考ツールの効果的な活用